

2023年度 保育園自己評価

社会福祉法人時津こぼと福祉会 時津こぼと保育園

保育園は常に質の高い保育が求められているが、保育者は未来の子どもの成長を促す役割や責任がある。そのためにも保育者自身の人間性や専門性の向上を図ることは不可欠である。自己評価をととして保育の専門性を見つめ、評価として次につなげる課題とする。

※評価欄：Aできている B ほぼできている C あまりできていない Dまったくできていない

評価項目	評価欄
1. 保育園の理念・目標・計画・評価	
保育所保育指針と保育理念・目標の関係を理解し、全体的な計画を立てている。	A
全体的な計画に基づいた具体的な指導計画を作成している。	A
多様な需要に対して、地域や保育所の特性を考慮した柔軟な計画を作成している。	A
各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり個々の発達にも留意したものを作成している。	A
2. 保育の内容	
子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮して保育を行っている。	A
評価結果を基に、保育の改善に努めている。	A
子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている。	A
子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	A
身体的、精神的、情緒的発達や家庭環境及び食事習慣等、子どもの状態を把握している。	A
食育計画を作成し、日々の保育の中で子どもの「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培わなければならないことを理解している。	A
行事の種類や実施回数は適切に行われている。	A
行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	A
3. 保育園の組織・役割分担	
豊かな集団を目指したクラス運営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている。	A
保育にかかわる様々な知識や技能の向上に努め、悩みや疑問を解決するために、研修に参加したり専門書を読むなどして自己研鑽を積んでいる。	A
全職員は、施設内外の環境維持向上に努め、安全対策の共通理解や体制作りに努めている。	A
職員間で常に報告、連絡、相談の体制が機能している。	A
火災・地震・不審者親友等の危機管理に努めている。	A

4. 家庭・地域社会との連携	
家庭との連携を図るよう努めている	A
関係機関との連携を図り、有効な対応に努めている。	A
地域や保護者の意見を施設運営に反映している。	B
5. 事務管理・運用	
個人記録簿は、適切に記載し整理保管している。	A
職員に園内で知り得た事柄に対して守秘義務を周知徹底している	A
各種会計を適正かつ適切に処理している。	A
6. 情報発信	
保育園だより、クラスだより等毎月、保護者へ配布し情報を発信している。	A
保育園の情報や日々の園児の様子をホームページやブログで発信している。	A